

やっと眼を覚ましたかい それなのになぜ眼も合わせやしないんだい？  
「遅いよ」と怒る君 これでもやれるだけ飛ばしてきたんだよ

心が身体を追い越してきたんだよ

君の髪や瞳だけで胸が痛いよ  
同じ時を吸いこんで離したくないよ  
遙か昔から知る その声に  
生まれてはじめて 何を言えればいい？

君の前前前世から僕は君を探しはじめたよ  
そのぶきっちな笑い方をめがけて やってきたんだよ

君が全然全部なくなって チリチリになったって  
もう迷わない また 1 から探し始めるさ  
むしろ 0 から また宇宙をはじめてみようか

どっから話すかな 君が眠っていた間のストーリー  
何億 何光年分の物 語を語りにきたんだよ けどいざその姿この眼に映すと

君も知らぬ君とジャレて 戯れたいよ  
君の消えぬ痛みまで愛してみたいよ  
銀河何個分かの 果てに出逢えた  
その手を壊さずに どう握ったならいい？

君の前前前世から僕は君を探しはじめたよ  
その騒がしい声と涙をめがけ やってきたんだよ

そんな革命前夜の僕らを誰が止めるというんだろう  
もう迷わない 君のハートに旗を立てるよ  
君は僕から諦め方を 奪い取ったの

ぜんぜんぜん せ ぼく きみ さが  
前前前世から僕は君を探しはじめたよ  
そのぶきっちな笑い方をめがけて やってきたんだよ

きみ ぜんぜんぜん ぶ  
君が全然全部なくなって チリチリになったって  
もう迷わない また 1 から探し始めるさ  
なんこうねん うた くち  
何光年でも この歌を口ずさみながら